

第42回食品産業優良企業等表彰事業 食品産業部門（農商工連携推進タイプ）農林水産大臣賞受賞

「加東市における国産もち麦栽培と健康増進・地域活性化の取り組み」で

蒸し豆・煮豆・佃煮のマルヤナギブランドを展開する株式会社マルヤナギ小倉屋（神戸市東灘区 代表取締役社長：柳本一郎）は、一般財団法人食品産業センター主催の「第42回食品産業優良企業等表彰」において、食品産業部門の最高賞である農林水産大臣賞を受賞いたしました。

この賞は、食品産業の経営の改善、技術の革新等に対する意欲の高揚を図るため、食品製造業、食品流通業等を対象として、農林水産省の後援のもとに（公財）食品流通構造改善促進機構との共催により例年実施されている表彰制度です。（農商工連携推進タイプ：農商工連携の推進など、健全な地場産業として地域の農林水産物の生産者との連携による原料調達、雇用促進等の面で地域の発展に功績のあった者が対象）

<功績概要>

- 日本初のレトルト煮豆の開発に成功するとともに、日本初「蒸し大豆」を開発し、市場規模を拡大した。また、日本の農業が抱える様々な課題に対応するため、食品メーカーとして生産農家に対して奨励金を出す等の施策を講じてきた。
- 日本人の食物繊維摂取不足を解消するために、食物繊維が豊富な「蒸しもち麦」を開発し、国内農業の活性化を目指している。基幹工場立地市にあるJAみのりとの連携を深め、原料の地元での確保に努めるとともに、もち麦の健康価値を伝える啓蒙活動に取り組み、地域農業の振興に寄与している。
- 「伝統食材のすばらしさを次の世代へ」を企業ミッションとして掲げ、原料のもち麦の生産地である加東市の農業振興に寄与するだけでなく、加東市及び国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所をも交えて、地域住民の健康増進対策を推進している。

【参考】

食品産業センターウェブサイト「第42回優良企業等表彰受賞の決定について」
<https://www.shokusan.or.jp/yuryo-kigyō/news/4258/>